

2025年1月23日
No. 2024-032

次世代省エネ型 VLCC “PARNASSOS” 引渡

ジャパン マリンユナイテッド株式会社(本社：神奈川県横浜市、社長：廣瀬 崇)は、1月23日(木)、有明事業所(熊本県玉名郡長洲町)にて AQUMARINE SHIOPWNERS LTD. (アクアマリンシップオーナーズ リミテッド) 向けに建造していた VLCC “PARNASSOS” (パルナソス)を引渡しました。

本船は次世代省エネ型タンカー(N-VLCC)の建造第2番船です。スポット用船向けVLCCとして累計35隻以上の建造実績を誇る大ヒット商品の系譜を継ぎ、H-CSRをはじめとした最新の規則を取り入れ、燃費性能の大幅改善を目指した省エネ型商品として開発いたしました。全長330mのコンパクトサイズに抑えながらも浅喫水でのDWTの最大化により、マラッカ海峡通峡を含む東西トレードに対応できるフレキシビリティー性を持ち、大幅に燃費性能を向上させることで、顧客の競争力向上に寄与しております。

【本船概要】

主要寸法 : 全長 330.0 m x 幅 60.00 m x 深さ 29.35 m x 喫水 21.58 m
総トン数 : 157,208
主機関 : Hitz MAN B&W 6G80ME-C10.5-HPSCR Diesel Engine 1基
定員 : 30名
船級 : ABS
船籍 : Bahamas

【特徴】

・SOxスクラバーを搭載しており SOx(硫黄酸化物)排出規制に適合しています。また、SCR(Selective Catalytic Reduction)を搭載しており NOx(窒素酸化物)排出規制(NOx TierIII)に適合しています。

・GHG(Greenhouse Gas)排出規制である、EEDI(Energy Efficiency Design Index)に対しては 2025年以降の契約船に適用される Phase3 レベルを先取りして満足しています。

・弊社独自開発の技術としては、最新鋭の省エネデバイスである新型 SSD®、SURF-BULB®、ALV-Fin®と、実海域性能の向上を目的とした AX-BOW®の船首形状を標準的に採用し、また、G型エンジン(IMO NOx Tier III 対応 電子制御主機)と大直径低回転プロペラの採用により、旧世代を大幅に上回るパフォーマンスを達成しております。

弊社は今後も、経済性・環境性に優れたコンテナ船をはじめとした最新鋭のエコシップの開発・建造に努めてまいります。

